

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2023年3月24日
株式会社イースリー

「中学生以上の8割が怪我を経験。」

5割のサッカー指導者が怪我人の多さに悩み」

日本クラブユースサッカー連盟とアンケートを実施

一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟(以下:JCY)と、「JCY 育成パートナー」としてパートナーシップ契約を締結している株式会社イースリー(所在地:東京都千代田区、代表取締役:小野寺 徹也)は、JCY と共同で JCY に加盟するチームの保護者(538名)、指導者(190名)を対象にアンケートを実施しました。

■怪我やコンディショニングに関する情報が不足

アンケートでは、選手の怪我や疲労、また家庭でのサポートについて、保護者はどんな課題やニーズを感じているのか?また、指導者は、自身のレベルアップのために、どのような情報を求めているのか?を調査。特に、選手の怪我やコンディショニングについて、保護者、指導者ともに情報が不足しており、課題に感じていることが分かりました。

詳細については、サカイイク、COACH UNITED にてレポートを公開していますので、以下をご覧ください。

<<保護者向けアンケート結果>>

●中学生以上の8割が怪我を経験。5割のサッカー指導者が怪我人の多さに悩み

<https://www.sakaiku.jp/series/jcy/2023/016178.html>

●98.4%が怪我予防や疲労回復に関心。サッカーをする子どもの親が知りたい情報とは?

<https://www.sakaiku.jp/series/jcy/2023/016179.html>

<<指導者向けアンケート結果>>

●課題はゲーム分析?ジュニアユース年代のサッカー指導者がいま学びたいこと

<https://coachunited.jp/column/001278.html>

●53.0%の指導者が「怪我人が多い」と回答。選手を守るために必要なこととは?

<https://coachunited.jp/column/001279.html>

■正しい知識の啓蒙や無料セミナーを実施

ジュニアユース年代、ユース年代は身体的にも人間としても大きく成長するタイミングであり、サッカーの育成においても非常に重要な時期です。今回の調査結果を受けて、JCY とイースリーは、共同で実施している「JCY カラダケアプロジェクト(保護者向け)」「JCY 指導者応援プロジェクト(指導者向け)」を通して、家庭でできる怪我予防、疲労回復について、食事、睡眠に関する正しい知識の発信や、コンディショニングや食育などの無料オンラインセミナーを実施していく予定です。

これらの情報提供は、各プロジェクトの公式 LINE を通じて受け取ることができます。

▼JCY カラダケアプロジェクト公式 LINE「友だち追加」はこちら

<https://lin.ee/5IFRsYF>

▼JCY 指導者応援プロジェクト公式 LINE「友だち追加」はこちら

<https://lin.ee/XUC6RNp>



■一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟とは

1978年の発足以来、クラブチームの競技力向上と地域に根ざしたクラブの普及・発展を目的に活動。街クラブからJリーグの下部組織など中学年代、高校年代における全国のクラブチームが加盟。2020年にはU-15が1,492クラブ(登録選手 67,703名)、U-18が124クラブ(登録選手 3,507名)加盟しており、2020年度からは女子U-18の加盟登録制度を開始し、53クラブが加盟。公式大会の主催や、指導者養成など全国各地で活動を展開している。(<https://www.jcy.jp/>)

【株式会社イースリー概要】

所在地:東京都千代田区九段南 2-4-11 HIVE TOKYO 703

設立日:2003年8月8日 代表:代表取締役 CEO 小野寺 徹也 URL:<https://www.e-3.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

担当:株式会社イースリー メディア事業部:竹原 和雄、谷口 恵

Email: info@e-3.jp

TEL: 03-5210-1221



※新型コロナウイルス感染防止のためテレワークとなります。お問い合わせは、メールにてご連絡ください。